

泉州の医療改革

日本維新の会

本号では、いとう信久さんの
目指す政策などをお伝えします。

衆議院議員

のぶ ひさ
信久

いとう

衆議院議員 プロフィール

いとう信久



1964 年生まれ。
神戸大学医学部医学科卒業、大阪市立大学大学院医学研究科修了、ウイルス学医学博士。
伊東くりにつくみどり診療所（泉州）院長 / メゾン・デ・サントネール泉佐野・阪南 顧問医師 / 貝塚ライオンズクラブ会員 / 泉佐野商工会議所会員 / 岬ラグビースポーツ少年団コーチ
衆議院議員（現在3 期目）。科学技術・イノベーション推進特別委員会理事・総務委員会・決算行政監視委員会。



令和五年がいよいよ始まりました。昨年には二月にロシアによるウクライナ侵略が起き、天然ガスなど海外に依存しているエネルギー問題が顕著化し、円安も進み国民生活に大打撃がもたらされました。コロナ禍における生活の変化に対しても、政府の対応はまだまだ不足していると云わざるをえません。

通常国会を通して、維新が掲げる「身を切る改革」・「統治機構改革」・「既得権の打破」を目指し、日本のよりよい改革を進めていく所存です。



伊東だからできる、維新だからできる。

2022年における国会活動(委員会質疑まとめ)

予算委員会(分科会)にて

2/17 「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」・「医療におけるネット広告規制」について

厚生労働大臣より、ACPに従事する者を対象とした資格制度について、前向きな発言を得ました。

外務委員会にて

3/30 「北極圏を取り巻く経済環境」・「原薬サプライチェーンの現状」について

経済安全保障の観点から北極圏における海洋交通路と、天然ガス等の海洋資源の安定供給について、質疑しました。また医薬品の安定供給について、海外輸入に頼る原薬の供給元の出発物質からのサプライチェーンに、しっかりとした調査をすすめることや、安定供給の確保がなされるまでの具体的な対応の検討をすすめるということについての言及を得ました。



原子力問題調査特別委員会にて

4/7 「原発再稼働」・「原子力の平和利用」について

電力の供給ひっ迫、ロシアによるウクライナ侵攻を発端とした原料の輸入に関する今後の課題を中心に質疑しました。

5/10 アドバイザリー・ボード会員に対する質疑

決算行政監視委員会にて

4/18 「原子力の平和利用」・「研究炉の運営・医療応用」・他について

熊取町にある研究用原子炉「KUR」(出力五千キロワット)の今後の運用についての確認と、本研究を継続する必要性について意見を述べました。

科学技術・イノベーション特別委員会にて

11/15 「革新的医療技術」・「リアルワールドデータ」・「イン・シリコ・スクリーニング」・他について

革新的医療技術に関して臨床応用がなされたあとの有効性と安全性を検証する重要性について質疑しました。



総務委員会にて

11/24 「地域の防災対策」について

泉南市の山本優真市長から相談のあった地域の防災対策(学校施設に地下シェルターの設置)について質問をしました。諸外国の調査を行うなどして検討進めてきているところであるという回答を得ました。

11/29 「国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)」について

2022年度第2次補正予算に計上されているBeyond5Gに関する質疑をしました。

12/6 「特定社会基盤事業」・「地方議会のオンライン化」について

国の基盤インフラとしての5Gの重要性についてその認識を確認するとともに、経済団体から懸念が示されている基幹インフラの事前審査については総務大臣から基本的な考え方や手続きなどを可能な限り明確に示すこと、審査に先立って事業者から事前相談を受けること、などの回答を得ました。地方議会のオンライン出席についても総務大臣から、法解釈の立場から法改正により可能とすることを慎重に検討していかなければならないという答弁がありました。

2023年も

維新

私たちの改革は 立ち止まりません。

